遠藤れい子の新潟県議会ウォッチ　No.353　2026年10月18日　《部内資料》



遠藤れい子ひまわりレポート

〇遠藤れい子事務所　〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443

ホームページ

利益誘導を当然視し、有権者を恫喝（どうかつ）する築和生農水大臣

“傲慢”な高市早苗首相の擁護発言

音声データで

築（やな）和生氏が自民党内の集会で首長の支持や票数を理由に「那須烏山市は前年度の64％減、那珂川町は54％減にした」などと発言した音声データが週刊誌や地元紙に報じられました。

開き直りの会見

築和生農林水産相は10月2日夕、国会内で会見し、今年の総選挙で自身を支持しなかった首長のいる自治体に対し「道路予算を大幅にカットした」と発言したと報じた文春オンラインの報道について、自身の発言を認めた上で、「誤解を招いたことはおわびする」と述べました。一方、「職責を全うする」と農水相は続投する意向を表明しました。

裏金で処分うけた築氏

築氏は、1746万円の裏金が発覚して2024年、6カ月の役職停止処分を受けました。今年2月の総選挙で、栃木3区から比例重複で立候補。選挙終盤には高市早苗首相が応援に駆け付け「私の大事な築ちゃん」「私の知恵袋」と持ち上げましたが小選挙区では落選、比例復活で当選しました。

かばい続ける首相

これは築氏の個人的問題にとどまりません。他の自民党議員も選挙では「政府とのパイプ」を強調し、支持に結びつけています。自民党政権は国策の誘導にも予算を使い、首長や有権者を脅してきました。

利益誘導政治を断とう

9月の沖縄県知事選では、自民党が支援した候補が当選した途端に、高市早苗政権は沖縄振興予算の増額に動きました。

柏崎刈羽原発再稼働と引き換えに東電が新潟県に1000億円を拠出するなど、露骨な利益誘導がまかり通っています。

国民の税金である予算を政治的な力の源泉として扱い利用してきた自民党の利益誘導政治そのものを検証し、正す必要があります。

遠藤れい子と平和のコンサート

～権藤真弓とジャズライブ＆市民トーク～

日時：2026年11月1日(日)
13:30開場 14:00開演
会場：リリックホール シアター
入場料：全席自由
一般1,500円
小学生以下無料



遠藤れい子の笑顔でファイ

地域訪問でお聞きする“不満”、“不安”、“生活苦”、そして“怒り”

最近は田口たかさんと千手、中島、大島や栖吉地域を訪問している。お留守のところも多いけれど、お会いできた方からは様々な声をお聞きする。

ここ一番の関心ごとは「物価高」の不満である。円安が進み、毎月のようにモノの値段が上がっている。特に食料品の値上げはとどまるところを知らず、10月も4,000品目近く値上げだ。

「もうたまらん！」「いつになったら値上げは収まるのか？」「いったいいつになったら消費税は下がるんか？」「2年後には元に戻るんだろ。それまでに給与を8㌫上げてくれるのか？」「何で、防衛費だけは倍（2㌧㌫）になったんだ。俺らの給料上げてくれ！」

「バッカじゃないか？みんな中国製を使ってるのに、中国敵に回してどうすんだ？」「レアアースもない、エネルギー資源もない、食料もない。こんな日本攻めてくるわけねえだろ！」「ミサイル配備したって、腹いっぱいにならねえ、相手を脅かしても平和にゃならん」等々。